

2020年12月4日

名古屋大学教養教育院統括部言語文化部門英語小部会

1. 認定される科目

試験の種類	レベル・級位	認定対象 授業科目	認定可能 単位数		
(1) 実用英語技能検定 (英検)	1級	英語(基礎) 英語(中級) 英語(コミュニケーション)	左記の授 業科目の 内から、最 大2単位		
(2) 英検 CBT					
(3) 英検 S-CBT					
(4) 英検 S-Interview					
技術英語能力検定 (旧 工業英語能力検定試験)	プロフェッショナル (旧 工業英検 1級)				
国際連合公用語英語検定試験(国連英検)	A級、特A級				
Test of English as a Foreign Language (TOEFL)					
(1) ペーパー版 TOEFL (TOEFL PBT)	570 点以上※				
(2) インターネット版 TOEFL (TOEFL iBT)	88 点以上				
Test of English for International Communication Listening & Reading Test (TOEIC)	787 点以上				
ケンブリッジ大学英語検定試験(ケンブリッジ英検)	CAE、CPE				
International English Language Testing System (IELTS)	7.0 以上				

※2019 年度入学生のみ

- * 卒業単位としての取扱いについては、学部により異なりますので注意してください。
- * 検定試験の結果により単位認定を受けられるのは、英語で最大2単位までです。
- * 検定試験の認定日または受験日は、単位認定申請時の2年前までに限ります。
- * 既に自分が所属する学部の英語に関する卒業必要単位数を充足している場合は、検定試験による単位認定は行われません。
- * 他大学で取得した単位は、最大で60単位まで本学の単位として認定できることになっており、検定試験により認定される単位は、その60単位の中に含まれます。(名古屋大学通則第23条の2参照)
- * 検定試験により認定される単位は GPA には算入しません。
- * 英語について、C コースの学生で、英語検定試験で単位認定を受けたものは、「英語(サイバル)」の履修を免除します。
- * **英語は、既に単位を修得している科目には認定しません。**

2. 単位認定の申請受付

申請期間 **2021年1月8日(金)8時30分 ~ 2021年1月14日(木)17時まで**

申請受付の流れ

1. NUCT (<https://ct.nagoya-u.ac.jp/portal/>) にログインし、「メンバーシップ」内「参加可能な講義サイト」をクリックし、講義サイト「2020年度英語検定試験による単位認定について」の「参加ボタン」をクリックする
2. 「参加中の講義サイト」内の上記講義サイト名をクリックする
3. 「小テスト」を選択し、「テストを受験」にある「**≪2019年度以降入学生用≫**英語検定試験による単位認定申請(秋学期追加申請)」を選択し、テストを開始する
4. 回答後に「採点のために提出」をクリックする
※提出が完了している場合は、「小テスト」内「提出済テスト」に反映されます
5. 以下の期間に検定試験の認定証または得点証明書の**原本**を、教養教育院事務室にて提示
2021年1月18日(月)8時30分 ~ 2021年1月21日(木)17時まで
※原本を提示しなければ、申請手続きは完了したことになります。
※本人確認のため学生証の提示が必要です。
(原本の提出期日に変更がある場合、名大ポータルで通知します。)

3. 単位認定審査・合否の通知について

単位認定審査は、英語小部会により行われます。申請書類に問題がなければ、2月18日(木)以降、名大ポータル→学務→履修・成績→(教務システム上)履修・成績→成績照会にて単位が確認できる予定です。単位は申請時の学期の単位とします。

4. 単位の認定を受けた学生に対する措置

単位認定を受けた学生には、卒業単位ないし進級単位の修得上の必要の有無にかかわらず、たとえば言語文化Ⅰよりも高度なレベルの語学能力の養成を目指す言語文化Ⅱの授業を受講するなどの方法により、英語の学習をさらに積極的に継続するよう奨励します。

なお、言語文化Ⅱの英語科目は、次のとおり受講制限が設けられているので注意してください。

〈受講制限 : TOEFL ITP・PBT 515点、TOEFL iBT 67点、TOEIC 630点、IELTS 5.5以上〉

5. 単位認定の対象となる検定試験の種類に関する注意

いずれの検定試験も、正規の公開試験の結果のみが単位認定の対象となります。TOEIC 及び TOEFL に関しては、企業や団体などが実施する団体特別受験制度(TOEIC Institutional Program、TOEFL Institutional Testing Program)による成績は、審査の対象としないので注意してください。